

1. イベント概要

日時：平成30年11月3日（土・祝） 13:30～16:00
 会場：信濃川大河津資料館及び周辺
 内容：信濃川大河津資料館で開催している写真展の作品解説と撮影現場での施設説明を行いました。
 主催者：信濃川河川事務所
 参加者：21名

Divided Water
山本紉写真展

展示解説 & フィールドガイド

開催：平成30年11月3日（土・祝）13:30～16:00
 会場：信濃川大河津資料館・大河津分水公園
 参加費：無料
 受付時間：13:30～15:30
 プログラム
 1. 作品解説
 2. 現場説明
 3. トークセッション

申込先：信濃川河川事務所 TEL: 0268-32-3020 FAX: 0268-33-8168 E-mail: shirano@nrm.go.jp

Divided Water 山本紉 10.14(土)
 写真展 12.16(日)

展示作品解説集

信濃川大河津資料館
 〒186-8501 長野県上田市大河津
 TEL: 0268-97-2313 FAX: 0268-97-2346
 E-mail: shirano@nrm.go.jp



撮影者山本紉氏（左）と水と土の芸術祭2018チーフキュレーター長縄氏（右）

2. イベント状況

撮影者の山本紉氏から作品への思い、大河津分水の印象などを解説していただき、写真に込められた秘話を聞く貴重な機会となりました。また、普段は入ることのできない場所へ入り、信濃川大河津資料館スタッフによる施設説明も行われ、歴史的観点と芸術的観点から施設を見ることができた機会となりました。



展示された作品、1つ1つに込められた思いをお話して下さった山本紉氏。旧可動堰の遺構を目にし、鉄骨がむき出しになった姿に感銘を受けたそうです。



役目を終え、6年が経過した旧可動堰。ヘルメットを装着し、普段は立ち入ることのできない旧可動堰の真下へ。見上げる旧可動堰は圧巻です。



展示されている写真以外にも様々な角度から大河津分水を撮影されていました。その撮影エピソードと未発表の作品を長縄氏より解説していただきました。



洗堰の下へ降りると、みなさんその水の音や勢いに吸い込まれるように近くへ。洗堰のような形は国内でも珍しく、「見たことがない。スケールが違う」と山本氏。



最後にトークセッションを行い、長縄氏から「魅力的な遺構が資料館の目の前にある、この環境はとても貴重です！」とお話いただきました。

参加者の声



ラジオで聞き、「絶対に父親を連れて行ってあげよう！」と思い、楽しみしてきました。

父の喜ぶ姿が見られて本当に来て良かったです。父も「大正・昭和の技術は素晴らしいですね。素晴らしい写真、構造物が見られて感激しております。」とっています。

（長岡市栃尾在住のご家族）